

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2019年 第171号 令和元年9月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

対談!

**環境研究クラブ
かかしと市議会**

特集記事（対談） 2・3 P
審議結果（トピックス） 4～6 P
委員会活動等 6～8 P
一般質問 8～11 P
きみの未来、あなたの未来 12 P
議会のうごき 編集後記

令和元年11月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

環境研究 クラブ と 市議会

特集記事第19回は、環境研究クラブ「かかし」のみなさんとの対談です。

さて、どんな活動をしているのでしょうか？



森の再生を小さな活動から！

【環境研究クラブ「かかし」は、どのような活動をしていますか】

●移住してからクラブを結成し、今年で4年目を迎えます。近隣の方々と一緒にイベントを行い、自然を楽しみながら環境についての話をしています。

●今は、環境保全の基になる知識を広める活動が中心で、地元や都会の子どもとその家族が参加してくださっています。皮むき間伐「きらめ樹」の体験活動もそのひとつです。

●共生の視点で、動物保護施設をつくっています。また、実生の苗を環境の良いところに植えたり、川の流れや水脈がより良くなるようなアプローチの仕方を伝えたりしています。

【楽しさや充実感を感じるのは、どんな時ですか？】

●私達は3人とも、勝浦の自然が大好きで移住してきました。それぞれの子どもは、勝浦生まれの勝浦育ち。子ども

もに何を残せるかを考えながら、活動をしていること自体が喜びです。

●山に入るだけで子どもは自由に遊び、様々な経験をしています。例えば、「水が湧いている、すごい！」それを皆と共有し、自然の素晴らしさを体感する時、楽しさや充実感を感じています。

【実際に間伐を体験させていただいて、少人数でも林の再生はできることを実感しましたが、耕作放棄地について

ては、いかがお考えですか？】

●耕作放棄地は、解決策がほとんど無く、どのような形で運用したら良いのか思案しています。

先々は…都会からの家族が木を植え、週末に遊びに来ながらメンテナンスを行う。そういう人たちが繋がり「食べられる森をつくらう」をテーマに、お金を使わず皆の力で立ち上げていく…等。

山林を元気にすると共に、荒れ果てた耕作放棄地をこのような形で活かす方向を考えていかなければと思います。

【現在、空き地だけでなく、農地や耕作放棄地を転用しての太陽光発電が多くなりましたが、お考えは？】

●太陽光発電はともかく、山を切り崩して造るメガソーラーは、大きな問題があると思っています。勝浦と状況は違いますが、襟裳岬では植林をして、漁獲量が30倍になりました。それだけ山の自然環境を海がダイレクトに受け取ります。また、山の開発やその作業道は自然のサイクルを分断してしまう

ため川の氾濫や土砂崩れなどの災害も起こりやすくなります。

●太陽光パネルには寿命があります。25年から30年が寿命と言われている、経済産業省資源エネルギー庁が20年後に太陽光パネルのゴミが大量に出るといふ廃棄物問題を取り上げていました。

そのようなことを認識した上で、判断してもらうことが重要です。その中で、市で規制をつくってもらえれば、非常に心強いです。

【勝浦の自然にふれ、活動している立場から、今後、勝浦市をどんな街にしていきたいと思いますか？】

●近隣市町の方々と「自然遊びの会」を立ち上げ、御宿ではトレイルコース、いすみでは団体が管理している山で、子ども達は伸び伸びと遊んでいます。勝浦市には、人が入っていける山がありません。緑の中で思い切り遊べる街にしたいと思っています。

●移住して感じることに。勝浦は犯罪がとも少なく、安心して暮らせ、子ども達も心配なく遊べます。地元の人達と繋がりがあうことができ、素晴らしく

ピュアな所だと思っています。

だからこそ、企業誘致とかではなく、勝浦が好きだからここに住みたいという人たちが増えるような取り組みをしていくことが重要だと思います。

ファミリー層にとって、自然の中での子育てに魅力を感じることが出来る『自然を活かした街』にしていきたいと思っています。



中林 碧海 氏



中林 靖晴 氏



池田 豪 氏

※「きらめ樹」とは、木の皮をむいて、ゆっくり立ち枯れさせ、一年半乾燥した状態で伐採する画期的な間伐手法です。(NPO法人「森の蘇り」が実施)

令和元年 9 月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会 会期 9月9日から9月26日まで18日間

審議案件一覧

◎全会一致

○賛成多数

×賛成少数

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
議案第19号	特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	総務文教	可決◎
議案第20号	勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例の制定について	産業厚生	可決◎
議案第21号	勝浦市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決◎
議案第22号	勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教及び産業厚生	可決◎
議案第23号	勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決◎
議案第24号	平成31年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	可決◎
議案第25号	平成31年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決◎
議案第26号	決算認定について (平成30年度勝浦市一般会計歳入歳出決算)	決算審査	認定○
議案第27号	決算認定について (平成30年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第28号	決算認定について (平成30年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第29号	決算認定について (平成30年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算)	決算審査	認定◎
議案第30号	利益の処分及び決算認定について (平成30年度勝浦市水道事業会計決算)	決算審査	可決及び認定◎
議案第31号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて		同意◎
議案第32号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて		同意◎
議案第33号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて		同意◎
議案第34号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて		同意◎
議案第35号	勝浦市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱につき同意を求めることについて		同意◎
議案第36号	勝浦市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意◎
請願第3号	太陽光発電設備の規制および自然や景観を守る条例制定の請願	産業厚生	採択○

議員提出議案

発議案第3号	勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		可決◎
発議案第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について		可決◎

議会報では、審議された全ての議案の中から市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例が 制定されました。

勝浦市幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関し必要な事項を定めるために、新しく条例を制定しようとするものです。

主な内容

名 称：勝浦市立勝浦こども園
位 置：勝浦市出水1200番地
定 員：200人
開園時間：午前7時30分から午後6時まで
休 日：日曜日、祝日、年末年始
(12月29日から翌年1月3日まで)

条例制定の審議に先立ち、9月議会初日に、現在建設整備中の同施設の視察を行いました。



●トピックス その2

12月定例会から採決方法で電子表決システムの利用が 可能となりました。

発議案第3号勝浦市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について現行会議規則第70条に起立による表決として表決方法が規定されていますが、電子表決システムも可能となるよう規則を改正するとともに、電子表決システムの運用を規定する改正を行いました。

市議会では、議会の録音、映像配信のための議会システムが老朽化等により、12月定例会から運用する予定で改修します。新しい議会システムでは、参議院でも採用されている電子表決システムが利用可能となっています。

この電子表決システムでは賛成、反対の投票ボタンを押すことで、表決結果を正確に集計し、モニターに表示することが可能となります。

このことにより、傍聴者等にも議員の賛成、反対の投票結果がより確認しやすくなります。

電子表決は千葉県下37市中実施している市は8市であり、近隣市においては未実施であるため、先進性の取り組みという点でも大きな一歩です。

※現在の採決方法は一部を除き、慣例により挙手により表決が行われています。



●トピックス その3

新たな過疎対策法の制定に関する意見書を提出しました。

令和3年3月末をもって現行の「過疎地域自立促進特別措置法」が失効することに伴い、新たな過疎対策法の制定に関する意見書について、議員全員の賛同により発議案第4号として提出し、本会議で可決しました。なお、これにより、内閣総理大臣をはじめ、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣に意見書を提出しました。

勝浦市は、平成26年度から過疎地域自立促進特別措置法の適用を受け、認定こども園整備事業や小中学校冷房設備整備事業をはじめ、道路整備事業、観光事業などに過疎対策事業債を活用して事業を行ってきました。

過疎対策事業債は一定の条件のもと、借入れが可能となるだけでなく、借入額の約7割が地方交付税として勝浦市に入ってくる大変有利な制度であり、勝浦市の重要な財源の一つとなっていることから、新たに過疎対策法を制定してもらえよう要望するものです。

(意見書の内容)

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要であり、新たな過疎対策法の制定を強く要望するものです。

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

議案第19号特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について及び議案第21号勝浦市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について、第22号勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する制定について、そして議案第24号平成31年度勝浦市一般会計補正予算について、総務文教常任委員会に付託されました。

クリーンセンター管理運営についての質問や海岸堤防等、老朽化対策事業についての質問、公共土木施設災害復旧や社会教育費及び文化財保護事業に関する質問が多く出され慎重なる審議の結果、全て可決されました。

最終日の本会議において、総務文教常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により付託された条例3件と一般会計補正予算は「可決」となりました。

決算審査特別委員会

平成30年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、以上4件の歳入歳出決算、水道事業会計の利益の処分及び決算を審査するため、7人の委員による決算審査特別委員会を設置し、9月20日及び24日の2日間、予算の執行状況、財政運営等や予算執行に関する諸帳簿の確認と審査の結果、一般会計は賛成多数（賛成6、反対1）で、その他4会計はいずれも全員賛成で認定すべきものと決定しました。

なお、一般会計において、決算について認定できないとの反対討論がありました。反対討論における反対理由の要旨

- 1、道の駅整備事業を、市の一方的な判断により白紙撤回したため業務委託料が全くの無駄となった。
- 2、勝浦荒川線の道路改良工事は、問題が多くあるにも関わらず適正な設計とは認められない。
- 3、北中跡地活用のための野球場整備事業予算を議会に説明なく庁議で決定したとの理由で、予算を組み替え整備事業を先送りとした。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員
末吉 定夫	照川 由美子	・磯野 典正・岩瀬 洋男・久我 恵子 ・鈴木 克己・松崎 栄二

決算審査特別委員会での主な質問

Q ふるさと応援寄附金について

A 新しい返礼品のアイデアを、体験型商品等を中心に掘り出して探したい。
また、市長もふるさと納税等をトップセールスしていく。

Q 道の駅整備事業の白紙撤回による基本設計等業務委託料について

A 成果物としては予定地に建てるための内容ですが、今後、観光基本計画の見直し等、市の発展のために活用したい。

Q 子育て支援の充実として、認定こども園の開園時間を午後7時まで延長することについての市長の見解は

A 保育士の職場環境、保育士の数の問題を含め、可能であれば延長していきたい。
日曜開所までつなげるため保育士の数を検証して、子育て世帯の期待に応えたい。



決算審査特別委員会の様子



関係諸帳簿及び証書類検査

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会では、条例制定議案3件（議案第20号「勝浦市立幼保連携型認定こども園設置管理条例の制定について」、議案第22号「勝浦市立幼稚園使用料条例及び勝浦市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第23号「勝浦市水道事業条例の一部を改正する条例の制定について」と、補正予算案1件（議案第25号「平成31年度勝浦市介護保険特別会計補正予算」）及び請願1件（太陽光発電設備の規制および自然や景観を守る条例制定の請願）の付託を受け、9月19日に委員会を開催しました。

審議の結果、条例制定議案3件と補正予算案1件は「全員賛成」で原案可決となりました。請願1件は「賛成多数」で採択となりました。

以上の審議結果について、9月26日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審議結果報告後、採決を行い、議案4件については「全員賛成」で可決、請願1件については「賛成多数」で採択となりました。

9月12日		9月11日			
佐藤 啓史 議員	鈴木 克己 議員	久我 恵子 議員	戸坂 健一 議員	岩瀬 洋男 議員	照川由美子 議員
①市長の政治姿勢について ②選挙公約3大プロジェクトについて		①朝市及び中央商店街の活性化について ②浜勝浦川の浄化対策について		①地域防災について ②市長の所信表明を受けて ③持続可能な地域について	
①総合計画等と市長選挙公約との関係について		①市長の所信表明について ②セナガル共和国ルセセン市との交流について		①漁業法改正に伴う県規制改正の検討内容と本市漁業振興の課題について ②海の魅力を活かした「海洋観光」の推進と課題について	

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

市政の目玉が聞きたい

一般質問

9月11日・12日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。





照川由美子議員

漁業法改正に伴う県規制改正の検討と、本市漁業振興の課題について

Q 鮑などの特定水産動植物の採捕禁止にかかる変更点をお伺いします。

A 密漁抑止を図るため罰金等の罰則を新設、県規則の改正時期は来夏の見通しです。

Q 漁業者の高齢化が進む中、本市漁業振興における課題は何か、掲げた公約のどこから着手するのか、お伺いします。

A 漁船数の減少は高齢化による廃業の進行の他、漁獲不振、魚価の低迷、燃油価格の高止まり等、漁業経営の安定性の低下が要因と考えます。これらを踏まえると、担い手の確保に加え、資源確保や魚価向上等の経営

環境の改善が課題と言えます。

私案には栽培漁業の推進等ありますが、まずは水産漁業に関わる多くの皆さんと対話を重ね、調査し、諸課題を掘り下げる所から始めます。

海の魅力を活かした「海洋観光」の推進と課題について

Q 守谷での、大規模な離岸流事故について今後の対策を伺います。

A 関係各所と協議検討の上、来夏の海水浴シーズンまでに対策を講じ、事故防止に努めます。

Q 観光地散策ルートの整備をどのようにしていくのか、伺います。

A 落石や転落の防止柵等を設置、土地所有者とも協議して散策しやすい環境の整備と安全対策に努めます。

Q 観光最盛期、昨年末で臭いが強かった浜勝浦

川に変化が見られた経過をお伺いします。

A 調査研究を重ねる中、浜勝浦川浄化対策推進協議会に諮り、本年五月に二回バイオ資材を試験的に投入したところ、良い結果。異臭対策に効果があると判断し、現在経過観察中です。

Q 観光客の利便・誘客に向けJRとの連携をどのように行うか、お考えをお聞かせください。

A JRと観光協会や郵便局が一体となつてできれば理想的。漁業体験型観光が、ビジネスになるよう、JRに働きかけ模索したいと考えます



バイオ資材投入



岩瀬洋男議員

勝浦市海岸づくり会議について

Q 延宝地震クラスの津波にそなえ、興津港海岸の防潮堤の高さを現状から2m10cm嵩上げする計画が千葉県より示され、それに対し地域の皆さんや団体の代表等で検討会議が開催されたがその結論はどうなったのか。

A 興津区としては防潮堤を高くすると海が見えなくなり避難や漁業に支障をきたすことから嵩上げでのハード対策は反対との意見であった。

夷隅土木事務所の見解は、今回は行わないとの方向性が出て計画はそのまま残し、今後地域の皆さんの意見等が変わつてくれば、また検討させていただきますとのこと

であった。

市長の選挙公約について

Q 水道料金30%以上の値下げ公約は、2億1千万円以上の収益が減収となるがその補填はどう考えているのか。

また、その実施時期は。

A 水道事業の費用抑制及び剰余金の活用、一般会計からの繰り出し等について減収補填の可能性の有無及びその規模を検討して補填財源を捻出したい。時期については第4次実施計画の策定の中で検討する。半分以上は県の高料金対策を活用するが、何とか補填額が出るようにしたい。

Q ごみ袋値下げの公約もあるが、その方法と実施時期は。

A 値下げの方法としては証紙の価格を下げる方向で考えている。

実施時期は第4次実

施計画の期間内において、全体事業と調整のうえで実施したいと考えている。

SDGsを取り入れた計画の策定について

Q 市のSDGsに対する考えは。

A 未来志向な社会づくりは令和の時代を担う子供たちに対し、行政として目指すものである。SDGsの取組の本質等を見極め取り入れ検討を図っていく。



興津区の防潮堤



戸坂健一議員

市長の所信表明について

Q 市長は所信表明において「3大プロジェクト」として水道料金やゴミ袋代の値下げ、国民健康保険税負担軽減など、様々な政策を打ち出した。しかし、市長の公約を全て実現するには毎年約2億円財源が必要となる。そこで、各事業の優先順位と実施時期についてどのようにお考えか伺う。

A それぞれの事業について、今後議会の意見や市民の意向を伺いながら、現在策定中の第4次実施計画に反映しつつ事業実施の手法や時期を検討していきたい。

Q 勝浦市の財政状況は厳しい。市税収入の減少や交付税の減少、また経

常収支比率も上昇している中で、年間約2億円の財源が必要となる事業が現段階で実施可能なのか。

A 今後、第4次実施計画の中で事業の精査を行いながら検討していく。

Q 市民は厳しい家計・経営状況が続く中、新市長の公約実現に大きな期待を寄せている。実現出来なければ大きな政治不信につながりかねない。来年度予算編成に向けて、どの公約を優先するのか、また政策の進捗状況を市民にどう伝えていくのか。

A 3大プロジェクトを絶対やり抜くという覚悟のもと、予算の確保に努めまた既存事業の見直しを行い財源を捻出したい。

Q 市長は市民からの大きな信託を受けて当選された。だからこそ、勝浦市の舵取りを誤らぬ様未来の勝浦市にとって負担となるような政策は見直

しも含めて慎重かつ柔軟に検討すべきと考えるが。

A 行政と議会が切磋琢磨して、知恵を出し合い政策について話し合える場を積極的に作っていく。

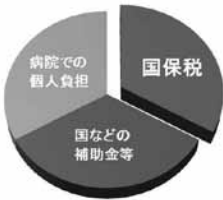
国民健康保険税について

Q 国民健康保険税について具体策と実現時期は。

A 負担軽減の規模や時期については、国保財政の状況を勘案しながら慎重に検討する。また、必要な財源は国保事業の留保財源を活用すると共に、市民の健康増進を図り医療費の適正化に努める。

Q 国民健康保険税負担軽減にあたっては一般財源を使わないということが。

A 一般会計からの繰入は現時点で考えていない。



国民健康保険税の決まり方



久我恵子議員

朝市及び中央商店街の活性化について

Q 市長公約の中に朝市及び中央商店街の活性化検討、朝市と共存できる複合施設の検討とあります。具体的にはどのような活性化対策、複合施設をお考えなのか、またその実施時期はいつ頃をお考えなのかお聞きします。

A 年間10万人以上の来訪者のある朝市は、本市の重要な観光資源のひとつでありますが、最近では出店者・来訪者共に減少傾向にあると聞いています。また、本市の中心的な商店街であります勝浦中央商店街も、空き店舗が年々増加する傾向にあります。朝市につきま

しては、フリーマーケットの開催による出店者の増加を図り、商店街の活性化については、eスポーツ大会等、イベント開催でのにぎわい創出等による活性化策を実施しています。また朝市と共存できる複合施設につきましては、朝市の現状に即した施設の設置を検討し、中心市街地活性化計画に盛り込み、地域住民の皆様や関係諸団体の皆様からの意見等を取り入れ段階を追って活性化を図ってまいりたいと考えています。

浜勝浦川の浄化対策について

Q 浜勝浦川の臭気や水質は、市民や勝浦を訪れる観光客に悪印象を与えています。今後の環境整備、景観整備について今後どのように進めていくのかお聞かせ下さい。

A 水質改善の為にバイオ材の投入により臭気及び水質が改善されたと



改善された浜勝浦川

思われますが、ポイ捨て問題が残されています。不法投棄防止対策に関しては、監視カメラの設置により一定の効果が現れていることから、ポイ捨て対策についても監視カメラの設置を検討してまいります。令和3年1月末頃完成予定の勝浦漁港臨港道路の歩道整備も踏まえ、浜勝浦川の浄化対策を市民の共通認識として、ホームページや広報で周知したいと考えています。



鈴木克己議員

総合計画等と市長選挙 公約との関係について

Q 市長選挙での公約を
実現するための重要な計
画となる来年度からの第
4次実施計画の策定を早
急に進めることが必要で
すが、その対応等につい
ての考えは。

A 現在の第3次実施計
画の評価検証の上で、議
会や市民との対話による
市民意向を把握し、自治
体経営、地域経営の視点
で、公約した諸施策を反
映させます。

Q 土屋市政として、本年
度予算組み替えの考えは。

A 本年度の各種事務事
業については、評価検証
を行うが、予算の組み替
えは考えていない。

選挙公約3大プロ ジェクトについて

Q 市住みやすさ向上対
策での水道料金とごみ袋
代の値下げについての考
えは。

A 水道料金の3割削減
は4年間で成し遂げる。
8月に、料金引き下げ
のために必要な県の補助
金を申請した。来年度か
ら段階的に引き下げを実
施していく。

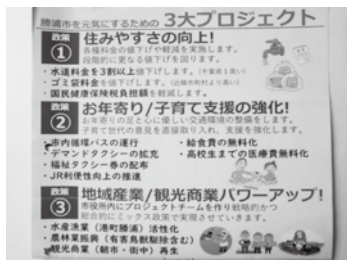
Q お年寄り、子育て支援
強化の中で、福祉タクシ
ーを配布するとあるが、
この対応は。

A 高齢者の方からの要
望である移動手段の確保
のために、近隣市町でも
実施している福祉タク
シー券配布を、財源を
捻出し実施に向け取り
組む。

Q 地域産業・観光商業・
戦略的パワーアップの中
で、市役所内にプロジェ
クトチームを作り戦略的
かつ総合的に、ミックス
政策で実現させるとある
が、具体的に説明を。

A 公約に対する職員の
意識を把握し、すり合わ
せながら重要事項に対応
するチームを発足し、各
課を横断的にミックスし
て取り組む。

今までの慣例的な手法
ではなく民間手法を取り
入れた体制づくりです。



公約3大プロジェクト

市長の政治姿勢に ついて



佐藤啓史議員

Q 土屋市長のまちづく
りの考え方をお聞きする。

A 1つには、トップ
セールスマンとして勝浦
市の売り込み、企業誘致
を積極的に行う。2つに
は、議会と手を携え、市
政運営を進める。3つに
は、市民の意見を積極的
に取り入れ、市政に反映
させるため、場をつくり、
情報提供する。4つには、
職員の能力向上に努め、
市政運営を行う。

Q 市長選挙前に新聞折
り込みで入った「つち
や元後援会ニュースNo.
1」では、住みよさラン
キングで全国814市区
中811位であり、勝浦
市は住みにくいまちであ
ると指摘し、その原因は

行政の停滞であり、変え
るためには強いリーダー
シップが必要であるとし
ている。行政の停滞とは
どういうことか？また土
屋市長の考える住みよい
まちとは？

A 公共料金を段階的に
引き下げ、市民の皆さん
に住みやすさの向上を推
進したい。またお年寄り
の足と心に優しい交通環
境の整備、給食費の無料
化や高校生の医療費の無
料化などの子育て支援の
強化を図りたい。

Q 勝浦市は住みにくい
まちか？

A 勝浦が大好きだから
住んでいる。

Q 土屋市長の描く勝浦
市の将来ビジョンをお聞
きする。

A 市民と行政が知恵を
出し合って行動する協働
の場、まちづくりの基本
理念を大事に、各地域の
誇りづくり、住民との対

話と協働しながら、憲章
にある「心と心のふれあ
いを大切に」をモットー
に「地元愛の力でつくる
新しい勝浦」、「日本一
のおもてなし・おもいや
りのあるまち」の実現に努
めたい。

Q 女性の視点、アイデ
アを活かすまちづくりに対
する市長の考えをお聞き
する。

A 男性、女性は無
論、世代や地域を問わず全
ての皆様の声を受け止め、
決断していくことが大事
である。

Q 土屋市長の健康を心
配する声があるが？

A 完全に良健康体であ
る。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
高橋 杏弥 さん
たかはし あずみ

私の将来の夢はキャビンアテンダントになることです。小さい頃に観た映画に出てきたキャビンアテンダントさんがとてもかっこよく、なりたいたったことがきっかけです。また、色々な国の文化を知りたい、たくさんの人と関わってみたいと思い、この職業が夢になりました。私は今、この夢を叶えるために英語を一生懸命勉強しています。英語を勉強することは楽しいし、苦ではありません。将来、一人でも多くの人の空の旅を笑顔にできるキャビンアテンダントになるという夢を絶対に叶えたいです。



議会のうごきについて報告します (令和元年8月～令和元年10月)

議会のうごき

8月3日	裕和園納涼会	19日	産業厚生常任委員会
5日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	20日	決算審査特別委員会
10日	按針祭（静岡県伊東市）	21日	勝浦裕和園敬老会
13日	議会運営委員会	24日	決算審査特別委員会
	かつうら若潮まつり花火大会	26日	本会議 最終日
16日	8月臨時会		全員協議会・議会報編集委員会
21日	水道事業運営審議会		
30日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会（いすみ市）	10月1日	上野地区敬老会
9月4日	議会運営委員会	3日	日本武道館開館55周年記念式典（東京都）
9日	本会議 初日	4日	議会運営委員会
	全員説明会・全員協議会	8日	防犯組合総会
11日	本会議 一般質問	10日	10月臨時会
12日	本会議 一般質問		議会表彰選考委員会
	議会改革検討委員会	15日	千葉県市議会議長会定例総会（千葉市）
14日	勝浦大漁まつり	28・29日	総務文教常任委員会行政視察 （茨城県かすみがうら市・笠間市）
17日	本会議 質疑	28～30日	全国漁港漁場大会（広島県）
18日	総務文教常任委員会	30日	議会報編集委員会

編集後記

今年の秋は残暑の厳しい日々が続きました。異常気象は地球温暖化の影響なのでしょう。全国各地で自然災害が起こり、比較的災害に強いと思われていた勝浦市も台風15号、19号及び21号では強風による停電、断水、家屋の損壊等の被害に遭いました。被災された皆様に議会一同、心からお見舞い申し上げます。

市民の皆様が安心、安全な生活が送れるよう市議会としても取り組んでまいります。今後ともお気軽にご意見、ご感想をお寄せください。

議会報委員会副委員長 久我 恵子

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会（73-6662）まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ！

勝浦カッピー

